

SDT

制振工学研究会通信

SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS

2016年 9月号

2016年 9月 1日発行
編集 集：会報編集委員会
編集責任者：小白井 敏明
担当者：立石 覚
URL <http://www.sdt-jp.com>
E-Mail: info@sdt-jp.com

◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-Mail: yamagu@pc.highway.ne.jp

◇研究会の行事案内

開催日時	開催地・会場	名 称	内 容
16. 09. 01	日本合成樹脂技術協会会議室 (東京都中央区)	第 29 回定期総会	総会、特別講演会、懇親会

◇分科会・WG・委員会の予定

開催日時	開催地・会場	名 称
16. 09. 23 13:00~17:00	三井化学(株)汐留シティセンター18F.G会議室	計測評価技術分科会・粘弾性特性比較検討WG
16. 09. 30 15:00~17:00	工学院大学新宿校舎 A1711室	文献調査分科会

◇会員消息 (2016年 9月 1日現在)

○会員数		○入・退会者
法人会員	25 社	—
個人会員	48 人	退会 1人
学生会員	0人	退会 1人

◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	主催団体及び内容
09. 04-06	シェラポート白馬 (長野県白馬村)	第18回サマーセミナー 「音響学の基礎と最新のトピックス」	日本音響学会 http://www.asj.gr.jp/lecture/2016/18summer_seminar.pdf
09. 06-09	東京大学 山上会館 (東京都文京区)	第13回ナノパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会 ～分子動力学計算と電子状態計算～	日本材料学会 http://www.jsms.jp/index_4.html
09. 07-09	東北大学 川内北キャンパス (仙台市青葉区)	平成28年度土木学会全国大会 第71回年次学術講演会・研究討論会	土木学会 http://www.jsce.or.jp/taikai2016/gakujyutukouen.html
09. 11-14	九州大学 伊都キャンパス (福岡市西区)	2015年度 年次大会	日本機械学会 http://www.jsme.or.jp/conferece/nenji2016/
09. 14-16	富山大学 五福キャンパス (富山県富山市)	2016年秋季研究発表会	日本音響学会 http://www.asj.gr.jp/annualmeeting/index.html
09. 15-16	フォーラムミサエコ 8Fホール (東京都千代田区)	第19回「プロをめざす人のための基礎接着技術セミナー」(東京会場)	日本接着学会 http://www.adhesion.or.jp/
09. 16	首都大学東京 南大沢キャンパス (東京都八王子市)	公開委員会「技術者育成プログラム 実学より学ぶ振動騒音技術」	自動車技術会 http://www.jsae.or.jp/calendar/?date=2016-9-16
09. 20-21	山形大学 米沢キャンパス (山形県米沢市)	平成28年度 繊維学会秋季研究発表会	繊維学会 http://www.fiber.or.jp/jpn/events/2016/autumn/index.html
09. 22-24	名古屋大学 東山キャンパス (名古屋市中千種区)	第29回計算力学講演会	日本機械学会 http://www.jsme.or.jp/conferece/cmdconf16/

(次ページに続く)

◇ 技術情報

▶簡単に表面の摩擦力を大幅に変えられる複合材を開発 ―グリップ性能を調節できるゴムなどの表面材への応用に期待―

国立研究開発法人 産業技術総合研究所【理事長 中鉢 良治】（以下「産総研」という）機能化学研究部門【研究部門長 北本 大】動的機能材料グループ 大園 拓哉 研究グループ長と、鈴木 航祐 産総研特別研究員は、簡単に表面の摩擦力を大幅に変えられる複合材を開発した。この複合材はゴムの表面に織布を埋め込んだもので、外から圧縮すると、ゴム表面の摩擦力が瞬時に1/10程度に低下する。圧縮によって発生するゴムのシワ構造に、布繊維の構造変化が重なることで、表面の形状が大きく変わる。そのため、物体との接触面積が変化し、摩擦力が変わる。

2016年6月24日 産総研：研究成果より

【詳細：http://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2016/nr20160624/nr20160624.html】

▶環境の変化を感知し、半永久的に駆動するアクチュエーター ―わずかな湿度の揺らぎを動力源とする新技術―

理化学研究所（理研）創発物性科学研究センター創発ソフトマター機能研究グループの相田卓三グループディレクター（東京大学大学院工学系研究科教授）、宮島大吾基礎科学特別研究員と東京大学大学院工学系研究科の荒添弘樹大学院生らの研究グループ※は、環境に存在する湿度の揺らぎをエネルギー源として半永久的に駆動する薄膜アクチュエーター[1]を開発しました。

2016年7月19日 理化学研究所プレスリリースより

【詳細：http://www.riken.jp/pr/press/2016/20160719_1/】

事務窓口	〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18	一般社団法人 日本合成樹脂技術協会
	Tel. 03-3542-0261	Fax. 03-3543-0619
	URL http://www.sdt-jp.com	E-Mail: info@sdt-jp.com